

第17回 東京外環トンネル施工等検討委員会 議事概要

■ 第17回検討委員会：平成30年7月31日

【議題】

- ・ 東名JCT周辺の野川の気泡漏出と地下水流出について

【議事概要】

- ・ 東名JCT周辺の野川水面で観察された気泡や工事ヤード内で発生した地下水の流出について報告があり、地下のシールド工事の掘進時に用いる空気のごく一部が北多摩層まで到達している人工的な孔の隙間を通過して上昇して、河川では気泡として漏出し、また、工事ヤード内では土砂で閉塞されていた人工的な孔の下部に漏出した空気が集まり、圧力が上昇し地下水とともに地上に流出したものと考えられることを確認した。
- ・ また、地中から漏出した空気は周辺環境に影響を与えるものではないと考えられるが、安心確保のため、空気の漏出状況をモニタリングするとともに、今後、工事ヤード内において、空気の漏出を抑制しながら掘進する方法について検証していくことを確認した。

以上